



令和7年4月1日
杉並区立済美養護学校
校長 伴 比佐志

令和7年度杉並区立済美養護学校 学校経営計画骨子

< 目指す児童・生徒像 ＝ 学校教育目標 >

輝く子ども － 自他を認め、社会の中で生きる力と生きる喜びを育む －

< 目指す学校像 2つの柱 >

【安心と安全】 ・児童・生徒が、自他を認め人権を尊重できる学校

【学習の充実】 ・児童・生徒が、主体的に学習に臨める学校

< 具体的な内容 >

【 安 心 と 安 全 】

児童・生徒が心身共に安心・安全と感じる教育環境を整え、児童・生徒が人権感覚・人権意識・健康の増進・防災意識を高められる教育活動を推進します。

- 教育活動全般において、児童・生徒が自己理解と他者理解ができるよう、児童・生徒の生活年齢や発達段階に応じた道徳的視点を設け、教育活動全般において人権を尊重する教育を推進します。
- 学校と家庭、学校医との連携を保ち、児童・生徒の健康の保持・増進を推進します。
- 教職員間の児童・生徒の個別配慮に関する情報共有の徹底と、各種専門家によるアセスメントを根拠とした児童・生徒の的確な実態把握を行い、教育活動における事故ゼロを目指します。
- 近隣の学校や町内会との連携により、地域が一体となり実災害を想定した防災教育を推進します。

【 学 習 の 充 実 】

児童・生徒が、個別に最適化された学びや協働的な学びの中で、身に付けた力を主体的に発揮し、自立することを目標とした、学習指導の充実を推進します。

- 小学部入学から中学部卒業までの9年間の継続した指導を意識し、生活年齢や発達段階に十分に配慮した系統性のある教育計画を構築します。
- 研究活動の成果から、児童・生徒の実態に応じた系統性のある学習活動を計画・実行・評価し、児童・生徒が主体的に学習に臨み、学習の中で輝く授業の工夫を行います。
- 児童・生徒の主体性の正しい把握と評価を行える、済美養護学校の学習スタンダードを構築します。
- 個別指導計画・学校生活支援シートやサービス等利用計画を活用し、学校・家庭・関係機関との情報共有で、具体的な児童・生徒の理想の将来像をイメージし、進路指導の充実をはかります。
- 地域の人的資産等を活用することで、児童・生徒が地域の中で活躍できる場を設定し、自己肯定感や自己有用感を実感できる教育活動を展開します。
- 副校長を要とし学部主任・学年主任間の連携を十分に行い、自立した各学部の経営を実現するとともに、生活年齢や発達段階に応じた効果的な学習を展開します。

< 重点項目 >

- 全ての教育活動を通して、お互いを認め合い尊重しあえる心の教育の推進をはかる
- 学校・家庭・地域の協働や、地域資産を活用し、児童・生徒が主体的に活動する学習の充実をはかる
- 杉並区全体に特別支援教育の理解を推進するための、特別支援教育のセンター的機能をより発揮する